

健全化判断比率 資金不足比率から見る 町の財政状況

健全化判断比率とは、地方自治体の財政状況がどの水準にあるかを示すものです。
①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の4つがあり、これらの数値が低いほど財政状況がしっかりした状態であることとなります。
①～④の指標のうち、ひとつでも早期健全化基準を超えた場合は財政再建計画を、

■津奈木町の健全化判断比率（単位：％）

区分	健全化判断比率	早期健全化基準
①実質赤字比率	-	15.00
②連結実質赤字比率	-	20.00
③実質公債費比率	3.1	25.0
④将来負担比率	-	350.0

※健全化判断比率が早期健全化基準以下の数値であれば健全であると判断されます。

資金不足比率が経営健全化基準の20%を超えた場合は経営健全化計画を定めて健全化に努めなければなりません。いずれの指標も基準を下回り、本町の財政状況は健全であるという結果が出ました。
①実質赤字比率・②連結実質赤字比率
実質赤字比率は、福祉や教育など、まちづくりを行う一般会計などの赤字程度を指標化したものです。また連結実質赤字比率は、一般会計のほかに特別会計と公営企業会計を加えた町全体の赤字程度を示すものです。
③実質公債費比率
借入金の返済額などが財政規模に対してどれくらいかを表したものです。この比率が高いほど財政の弾力性が低下し財政状況が厳しいこととなります。
④将来負担比率
借入金の返済額など、町が将来支払う負債が財政規模に対してどの程度あるかを表すものです。

■資金不足比率（単位：％）

区分	比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	-	20
宅地造成事業特別会計	-	

※表中の「-」は資金不足がないことを表します。

資金不足比率は簡易水道事業などの公営企業の資金不足がある場合、その不足額が事業規模に対してどれくらいかを示したものです。この比率が高くなるほど公営企業の経営状態に問題があることとなります。
本町には2つの公営企業特別会計がありますが、どちらも資金不足額はないため数値は算出されていません。

■町民1人当たり負担年額 ※町税には法人(企業)の負担税も含む。

町	税	人口	5,054人	65,489円
国民健康保険税	被保険者	1,525人		62,130円
後期高齢者医療保険料	被保険者	1,135人		36,211円
介護保険料	被保険者	1,810人		49,739円
水道料	給水人口	3,602人		15,693円

■公有財産現在高

土地	3,921,405㎡
建物	40,259㎡
出資金	1億2,543万円
自動車	41台
彫刻	18体
有価証券	15万円

■一般会計・特別会計決算

会 計	区分	決算額	対前年比
一 般 会 計	歳入	31億4,346万円	△1.4%
	歳出	29億6,093万円	△0.8%
特 別 会 計	歳入	21億818万円	12.9%
	歳出	18億3,509万円	9.1%
国民健康保険事業	歳入	10億7,055万円	4.9%
	歳出	8億6,063万円	△3.2%
後期高齢者医療事業	歳入	7,435万円	2.3%
	歳出	7,168万円	0.2%
簡易水道事業	歳入	2億5,908万円	112.0%
	歳出	2億5,449万円	125.1%
介護保険事業	歳入	6億7,305万円	7.1%
	歳出	6億2,920万円	5.7%
恒久対策事業	歳入	954万円	△27.2%
	歳出	893万円	△30.2%
宅地造成事業	歳入	2,161万円	114.7%
	歳出	1,015万円	7957.1%
合 計	歳入	52億5,164万円	3.9%
	歳出	47億9,602万円	2.8%

平成25年度の一般会計と6つの特別会計の決算が、9月の定例議会で承認されました。一般会計の決算額は歳入総額が31億4,346万円に對し、歳出総額は29億6,093万円となりました。歳入歳出総額を前年度と比較すると歳入は4,411万円減少、歳出は2,484万円減少しました。特別会計は、歳入決算額の合計が21億8,181万円に對し、歳出決算額の合計が18億3,509万円となり、前年度と比較すると歳入は2億4,141万円、歳出は1億5,324万円それぞれ増加となりました。宅地造成事業においては、前年度の決算額が非常に少なかったため、前年比が大幅に伸びています。
今回は一般会計において、いくらか基金(貯金)や地方債(借金)があるのか町がどのようなことにお金を使ったのかをお知らせします。

町のお金どう使ってる？ 平成25年度決算報告



町民1人当たりの額(一般会計)

地方債(借金) 472,073円
基金(貯金) 529,616円

※一般会計地方債および基金残高を平成25年度末人口5,054人で割って算出しています。

■地方債および基金残高

地方債	一般会計	23億8,586万円
	特別会計	9,586万円
	合計	24億8,172万円
基金	一般会計	26億7,668万円
	特別会計	12億1,398万円
	合計	38億9,066万円